



新宿区

『新宿力』で創造する
やすらぎとにぎわいのまち新宿

令和2年第1回区議会定例会
新宿区長定例記者会見資料
令和2年2月10日(月)

事業名	平和の啓発普及活動	予算(案)の概要	143 ページ
予算額	令和2年度予算額 18,819 千円 (前年度予算額 5,018 千円)	(新規・拡充・継続)	
取材先	総務部総務課長 鯨井 庸司 (電話 03-5273-3505)		

東京2020オリンピック・パラリンピック等を契機とした平和啓発普及活動の更なる推進

これまでの平和啓発事業に加え、「東京2020オリンピック・パラリンピック」及び「新宿区平和都市宣言35周年」に合わせた事業を実施することで、区民が平和への思いをより一層深められるような機会を提供します。

新宿区平和都市宣言35周年記念事業

平和都市宣言35周年にあわせ、一般区民等を対象とした平和啓発イベントを実施することで、区民に戦争の悲惨さと平和の尊さを改めて心に刻んでもらう機会とします。

■開催時期：令和3年3月

■会場：新宿文化センター大ホール

■内容：著名人による平和をテーマとした歌やトーク、戦争体験談紹介、区民等による平和へのメッセージ



新宿区平和都市宣言30周年記念事業の様子
(平成28年3月)

平和の大切さを末永く受け継ぐための被爆体験講話

世界最大のスポーツと平和の祭典、東京2020オリンピック・パラリンピックを契機として、未来を担う次世代の子どもたちに、戦争体験と平和の大切さを引き継ぐため、区立中学校2年生全員(約900名)を対象に、被爆者から直接体験談を聞く「被爆体験講話」を、毎年開催する中学生音楽鑑賞教室と合同で実施します。



■開設時期：令和2年6月

■会場：新宿文化センター大ホール

■内容：【第1部】音楽鑑賞教室(東京都交響楽団)
クラシック等の生演奏を聴き、音楽の素晴らしさと平和な時間を過ごせる有難さを実感する機会とします。

【第2部】被爆体験講話(田川博康氏)
12歳の時に長崎で被爆し、悲惨すぎる光景を目撃するとともに両親を原爆により亡くした辛すぎる被爆体験を通じて、次世代の子どもたちに戦争や核兵器の恐ろしさと平和の尊さを伝えます。



田川博康氏

